

たんぽぽ だより



赤碕福祉会 基本理念

一、報恩感謝 一、奉仕精神

第120号 令和4年7月発行

令和4年度 法人スローガン「みんなで紡ぐ 百寿苑」

スマホホームページ QRコード



社会福祉法人 赤碕福祉会
介護老人福祉施設 百寿苑
百寿苑デイサービスセンター
百寿苑きらりデイサービスセンター
百寿苑ヘルパーセンター
グループホームあかさき
グループホームきらり
グループホームはなみ
あかさき介護支援センター
鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1061-3
(0858) 55-2051

おかげさまで、創立30周年



令和3年度を振り返って

苑長 入江 祐子

令和2年2月より日本国内で感染が広がった新型コロナウイルス感染症は令和3年度も変異しながら感染力を増し、より一層感染予防とまん延防止対策を必要とする一年となりました。自然災害・感染症に関する事業継続計画（BCP 計画）の策定が急がれ、一年間をとおして策定・机上訓練・見直しを繰り返し、災害時における事業を継続するために必要な案件をBCP 計画として策定することができました。

日々、感染対策をとりながらもウイルスは僅かな隙間、対策の緩みを狙っているかのように当法人内にも令和4年2月末に新型コロナ感染症の陽性者がいましたが、幸いに重症化される方もなく短期間で終息することが出来ました。ご利用者様・ご家族・地域の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

新型コロナ感染症は百寿苑夏祭りをはじめ地域の皆様との交流の機会であるイベントを中止とし、人と人との交流を難しくしました。また入所者の皆様にはご家族との面会制限をお願いし、現在も継続しています。入所者の皆様には窓越し面会・WEB を活用した面会をお願いするとともに、事業所ごとのお便り・写真を同封した家族への手紙等で日々の様子を伝えることでご家族との繋がりに配慮し、季節を感じていただくドライブ・行事等を積極的に行う事で生活環境の質が確保されるよう取り組みました。

入所施設（特養・GH）において高齢化・重度化にともない介護負担が増しています。当法人では特養を中心に「ノーリフティングケア」の推進を行っています。介護する側、される側双方に安心で安全な「抱え上げない・持ち上げない・ひきずらないケア」を目指すものですが、単に福祉用具を活用するだけでなく職場全体で職員の身体に負担のかかる作業を見直すためのものです。令和2年からの取組はスライドボード、走行式移乗リフトの導入と定着が進み、介護負担の軽減と職場環境の見直しを図ることで働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

認知症ケアにおいては、認知症ケア加算の取得と共に認知症ケアの手法の一つである「ユマニチュード」を取り入れ、「見る・話す・触れる・立つ」4つの柱を大切に職場内研修を重ねながら認知症ケアを深めています。認知症の周辺症状であるBPSD(行動・心理症状)の問題は認知症の本人の側にあるのではなく、本人にとって居心地の良い環境を作ることができなかつた、我々介護職の側にあると認識し、今後も認知症ケアの充実を図ってまいります。

在宅介護サービスの充実が当法人の特徴となっていますが、通所介護事業・訪問介護事業・短期入所事業・居宅介護支援・配食サービス・介護予防教室は多くの方にご利用いただきました。

通所介護事業においては二つの事業所に機能訓練の専門職を2名体制で配置し、利用者個々に合わせたリハビリメニューによる訓練や介護士による認知症予防メニューの提供等ご利用者個々のニーズに合わせたサービスの選択と提供に努め「利用して良かった」という喜びの声を沢山いただきました。

訪問介護事業は地域において数少ない事業所となり、高齢者・障がいのある方の在宅生活を支える重要な社会資源となっています。当法人では3名の常勤職員を配置しサービスの提供を行っていますが、独居高齢者・夫婦高齢世帯を中心に生活支援を行い、在宅で最期を迎える方への身体介護支援は医療との連携により、そのご家族をも支えることができました。

居宅介護支援事業は地域で縮小する事業所が多い中、病院・市町村・家族からの相談・依頼を多くいただき月のプラン数が増加したこと、また旧赤碕町が過疎地域と指定されたことから特別地域加算の取得もあり、赤字事業から黒字事業へと転換を図ることが出来ました。病院等とのきめの細かい連携、ご利用者・ご家族のニーズに配慮したプランの提供は信頼の要因となっています。

配食サービスは当苑厨房でのキャパシティを踏まえて一日の最大提供数を50食としています。50食を上回る利用希望の申出があり利用制限をお願いした時期もありました。在宅の高齢者の食を支え、独居高齢者・夫婦高齢世帯・日中独居高齢者の安否確認も重要な役割となっています。

社会福祉法人に求められる公益的取組は新型コロナ感染症の影響であまり活動ができなかった一年間でした。今後、with コロナで何ができるか、コロナ後の法人の在り方を模索しながら地域に貢献できる法人となるよう取り組んでまいります。

今後ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

令和3年度 決算報告

事業活動計算書 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位千円)

借 方		貸 方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動費用	682,252	事業活動収益	695,356
事業活動外費用	1,898	事業活動外収益	3,101
特別費用	407	特別収益	0
当期活動増減差額	13,900		
合 計	698,457	合 計	698,457

貸借対照表 令和4年3月31日現在 (単位千円)

借 方		貸 方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金・預金	666,996	流動負債	46,393
その他の流動資産	100,568	固定負債	5,207
流動資産合計	767,564	負債合計	51,600
基本財産	627,627	基本金	105,790
その他の固定資産	385,943	国庫補助金等特別積立金	73,713
		その他の積立金	281,000
		次期繰越活動収支差額	1,269,031
		(内、当期活動収支差額)	13,900
固定資産合計	1,013,570	純資産合計	1,729,534
資産合計	1,781,134	負債純資産合計	1,781,134

地域ボランティアさま（日赤奉仕団）ありがとうございます

6月29日、日赤奉仕団さまに法人敷地内の草刈りをして頂きました。地域社会との交流を思うように持つことができないコロナ禍にあっても、地域の皆さまから法人運営に対するご理解とご支援を頂くことができ、厚く感謝を申し上げます。



ドライブ

今年は雨があまり降らず、ドライブには最適でした！
※撮影の為マスクを外している写真があります。ご了承ください。



▲西港

▲特養のふるさと巡り、皆さんの大切な場所にお出かけすることが出来ました

▲葦原神社



▲あやめ池



▲藤寺



(4)



▼▲船上山



▲菊港



晴れやかな
天候のもと
皆さまに
外出を
楽しんで
頂きました

◀ポート赤碕 風の丘

(5)

今年も暑い夏になりそうです。 ホームヘルパーから夏を乗り切るための知恵をお届けします。



百寿苑ホームヘルパーセンター
訪問介護士（係長）
松原 奈穂美

夏は特に大事になってくる「水分補給」ですが、特に病院等から制限を受けていない場合、1日 1,200 mlの水分摂取が必要とされています。これを聞かれて「一気にそんなに飲めない」という声をよく頂きますが、コツがあります。それは「こまめに水分補給を行うこと」です。朝や昼、おやつ時間、入浴後、寝る前等の節目、節目が良いでしょう。また、水だけでは飽きてしまいますね。お茶やジュースはもちろんですが、ヨーグルトも有効です。そして、水分だけではなく塩分や糖分もバランスよく摂れば理想的です。梅干しや飴であれば手軽に口にするのでおすすめです。食事についても口当たりが良く食べやすいものが良いでしょう。

以上の点に気を付けて今年の暑い夏を元気に乗り切りましょう！



いつもの食事に気持ちを込めて♪ スペイン風オムレツ



今回は、お昼や夕方の配食のお弁当のメニューにある、スペイン風オムレツを紹介します。（写真左上）
スペイン料理で、一般的に、じゃが芋やトマトなどを包んで焼いたオムレツになります。

通常のオムレツよりボリュームもアップし、栄養面でも重宝できる一品です！

今後も栄養面はもちろん、利用者の方に楽しみ・満足して頂けるように厨房職員と共に紡いで参ります。
（調理員より）



厨房
調理員
佐藤 生



スタッフ紹介



特別養護老人ホーム 百寿苑 調理員 石賀 順子

入社して28年になりました。元々福祉の仕事に携わりたいという思いがあり、子育ても落ち着いた頃に声をかけて頂きました。いくつかの職種を経て20年余り栄養士業務に携わりましたが、振り返ってみると、昔は今のように「多職種協働」という時代ではなく、利用者個々に合わせた食形態というものもありませんでした。疑問を感じながら仕事をしていたのですが、介護保険制度が始まったことや外部の言語聴覚士の協力も得られたことで理想の形に近づいてきています。今後、在宅ケアの必要性がますます高くなります。変化が速い社会の中で大変ですが、これからの担う若い人は上の世代と丁寧な擦り合わせをしながら知識と行動力を活かし、利用者の方の為に栄養ケアを現場や実際の食事に落とし込んでほしいと思います。



グループホームはなみ 介護士 奥田 祐二



専門学校を卒業後に入職し、気付けば人生の半分以上が職業生活となりました。志したきっかけは高校生の時に入院をし「人のお世話になる」とはこういう気持ちなのかと考えさせられたことです。仕事については自分で気付けることもありますが、長く勤めてきて周りのお陰で気付けたこともあり、健康で集中して働けることが大事だと考えています。

実は30代から本格的にけん玉を始め、縁があって小学校等でボランティアをするようになって7年になりました。子どもたちの反応も良いですが、施設の利用者の皆さまの関心も高く嬉しいところです。

最近、父の日に娘から「ありがとう」の動画をもらいました。子どものお陰で成長させてもらった部分もあり、こみ上げてくるものがありました。「こちらこそありがとう！」と伝えたいです。

百寿苑デイサービスセンター 介護士 松浦 里絵子

昔、子どもの保育園がデイサービスを併設しており、そこで声をかけられた事がきっかけで介護士の仕事に就きました。私はおばあちゃん子でお年寄りが好きでしたし、百寿苑には祖父母がお世話になっていて、恩返しの気持ちもあり、今では「働けて良かったな」という想いです。子沢山で育児との両立がありますが、上司が家庭の事を理解してくださるので、少し辛い事があっても気持ちの支えになっています。子ども達は卓球やサッカーに熱中しており、洗い物や洗濯物、送り迎えで大忙しで穏やかな時間はありませんが楽しい日々を送っています。打ち込めるものがある子ども達の姿を見て「私も頑張らないか」と思っています。学校行事等で休みを融通して下さる職場の皆様には感謝でいっぱいです！



※撮影の為マスクを外しています。

ケアマネ試験勉強会



赤碕福祉会では、今年も介護支援専門員（ケアマネジャー）資格取得を目指す職員を対象に勉強会を行っております。昨年は2名の職員が筆記試験に合格することが出来ました。「講師や仲間と相談しながら理解を深めることができた」「勉強会をその後の自主学習につなげることができた」との声もあり、今後もこうした取組みを実施しながら人材育成に努めて参ります。

法人職員で奉仕活動を行いました。

6月5日、職員22名で農業者トレーニングセンター周辺の花壇の剪定と水路の清掃活動を行いました。地域貢献・社会貢献活動は社会福祉法人としての責務でもあります。今後もこのような活動を通して信頼関係を形成しながら、地域社会の一員としての役割を果たして参ります。



新任職員 紹介

どうぞよろしく
お願いいたします



特養
介護士
岩本 富貴子



特養
介護補助員
山本 光

心より感謝申し上げます

※5月上旬～7月上旬の寄贈・ボランティアの方を掲載しております。

寄贈

秋田農園様…野菜苗、花苗
太田様…野菜 谷口様…菓子
米田様…栄養補助食品、紙おむつ
永田様…紙おむつ
高見様…花、野菜

ボランティア様

田中健二様
柔道クラブ様…畑作業
日赤奉仕団様
足立一子様…草取り



秋田農園様から12種の野菜の苗を頂きました。誠にありがとうございました。